



# エコシン

一般社団法人長野県環境保全協会

No.202  
2019/10/25  
Less CO<sub>2</sub>!

## 「信州環境カレッジ」第2回交流会を開催しました

10月3日(木)、松本市の「なんなんひろば」にて、「SDGsの達成に向けた企業、学校、地域のつながり」を副題とする交流会を開催しました。講座登録者、行政、学校関係者、当協会の会員等66名の参加をいただきました。

交流会では、最初に事例発表として、「いきものみつけファーム in 松本推進協議会」様から、生き物あふれる農地づくりを行い環境学習の場としている活動について、「リサイクルシステム研究会」様から、企業の従業員等を対象に実施している天竜川水系環境ピクニック等について、また、松本市環境政策課様及び松本市立安曇小学校様から、市における環境学習の取組と学校での実際の取組の様子について発表がありました。

その後のグループワークでは、「SDGsの目標4（質の高い教育）と17（パートナーシップ）を



共通目標として、地域で実践できる環境教育・環境学習の企画案を考えてみよう！」と、脱炭素、資源循環、若者、食と農など8つのテーマに分かれ、各グループで企画案のアイデア出しを行い、その結果を発表しました。途中、みんなの心を一つにするというパフォーマンスも飛び出すなど、和や

かな雰囲気の中でグループワークができました。

最後に、より多くの方と交流ができるよう全体の名刺交換タイムを設けました。この交流会が今後の「つながり」の一歩となることを願います。



(信州環境カレッジ運営事務局)

## 楽しみながら「SDGs」を学んでみませんか「ワークショップ カードゲーム『2030SDGs』」を開催

信州環境カレッジでは、「ワークショップ カードゲーム『2030SDGs』」を開催します。カードゲーム「2030SDGs」とは、SDGsの17目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。「なぜSDGsが必要なのか」そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に学びます。11月30日の上田会場を皮切りに県内4会場で開催します。日時、会場など詳しくはwebサイト「信州環境カレッジ」で検索下さい。

Eco  
Plaza



建設業における環境保全活動への取り組み

(株)守谷商会 代表取締役社長 吉澤 浩一郎



弊社は、環境方針「地球環境の保全が企業としての社会的責任であることを認識し、全ての事業活動において環境保全活動に取り組むとともに、環境保護に努める」のもと、主として工事現場における環境負荷低減・資源の有効活用などの環境保全活動に日々取り組んでいます。

「品質・環境マネジメントシステムによる取り組み」「守谷の森整備活動を通じた自然保護活動」「地中熱活用による再生可能エネルギー事業の推進」に加えて、今年7月には「第一期長野県SDGs推進企業」として登録し、更に環境保全活動に全社を挙げて継続的に注力して参ります。

当協会が長野県世論調査協会と共同で行った「環境と暮らし 2019」の調査結果によれば、「プラスチックごみを減らすために最も必要なことは」の問いに一番多かったのは「プラスチックに替わる製品の普及」で 50%でした。新素材開発などへの期待が大きいことを示しています。

会員企業でプラスチック製品と関わりが深い日精樹脂工業(株)様と日精エー・エス・ビー機械(株)様に、「生分解性樹脂」についてご寄稿をいただきました。

## ＜寄稿＞ サステナブル社会の実現に向け、植物由来の生分解性樹脂 100%を利用した射出成形技術を実用化 日精樹脂工業(株)



今や私たちの生活に欠かすことのできないプラスチック製品は、その多くが射出成形機によって作られています。当社は、射出成形機の専門メー

カーとして環境負荷の少ない新素材への対応技術を 1992 年に開発、その後も継続して技術開発に取り組んできました。

現在最も注目されている環境対応素材は、トウモロコシやサトウキビ等の植物原料を使用し、かつコンポスト化によって生分解が可能な「ポリ乳酸 (PLA)」ですが、石油系プラスチックに比べ、耐熱性と耐衝撃性が低い点(耐熱温度は約 60℃)、流動性や離型性が悪く深物や薄肉形状の成形が難しいといった課題があり、射出成形での用途は

限られていました。そこで当社は、生分解性樹脂の普及拡大に向けて、PLA100%を用いた薄肉透明容器の成形技術を開発、成形システムを実用化しました。

昨今の海洋プラスチックごみ問題を受け、各国の環境規制の対象になっているのが使い捨てのプラスチック容器ですが、これらを石油系プラスチックから PLA100%の容器に置き換える、すなわち川や海に流出する前に回収・コンポスト化することによって、持続可能な循環型社会や脱炭素による地球温暖化抑制が可能となります。ちなみに PLA 容器は、コンポスト埋設の場合、微生物によって通常 3~6 ヶ月で水と CO<sub>2</sub> に分解されます。

なお、当社がデモンストレーション用に製作した、PLA 製の「シャンパングラス」(写真)は、8 月下旬に開催された「アフリカ開発会議」で各国首脳に配布されました。

## ＜寄稿＞ 世界初 100%生分解性樹脂 (バイオ PBS) でのボトル化に成功 日精エー・エス・ビー機械(株)



当社はストレッチブロー成形機のリーディングカンパニーとして世界 130 カ国以上のお客様に、成形機を 10,000 台、金型を 20,000 型以上納入してきました。現在、世界中で海洋プラスチック対策が講じられていますが、当社はグローバル企業であったがゆえに、早くから「3R+α」をテーマとして環境問題に取り組んできました。

当社の環境技術の歴史は古く、1984 年にはリサイクル材料による多層成形技術を開発し、1992 年には欧州化粧品メーカーに採用されました。2008 年には環境省の PET ボトルリユース実験に参加し、繰り返し利用が可能な耐熱容器を提案しました。

生分解性樹脂に対する取り組みも早く、2000 年代初頭にはポリ乳酸 (PLA) を材料としながら、

容器の耐熱性とバリア性を向上させる技術を開発し、大手化粧品メーカーと共同開発したポリ乳酸容器を展示会に出展しました。最近では「バイオ PBS」100%でのボトル成形にも業界として世界で初めて成功しました(写真)。

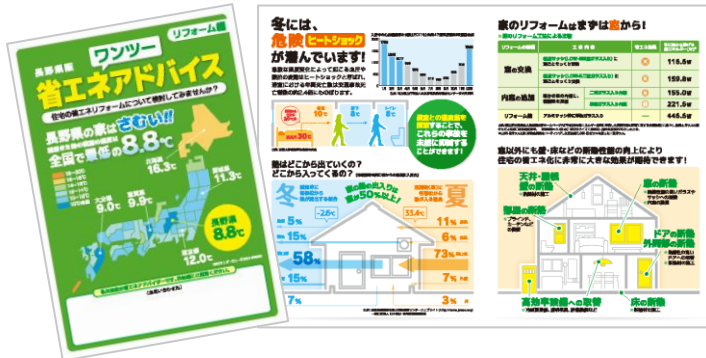
バイオ PBS は自然界の土壌で水と二酸化炭素に分解される生分解性樹脂で、分解スピードがポリ乳酸等に比べて早いのが特徴です。耐熱性にも優れており、今後、日用品や化粧品容器としての需要拡大が期待されます。他にも、海水中で分解可能な生分解性ポリマーでのボトル成形にも成功するなど、環境技術のパイオニアとして業界をリードしています。

生分解性樹脂は環境問題に対して有望な材料ですが、素材価格や用途制限などの課題もあり、決して万能ではありません。当社は環境対策の基本はリサイクルと考え、100%完全リサイクルの循環型社会の実現に向け、業界団体や関係省庁とも連携し、技術開発を進めて参ります。



## 長野県版 省エネワンツーアドバイス【リフォーム編】リニューアル!

“家庭の省エネアドバイザー”がお客様宅を訪問する際に手渡しているパンフレットのうち、「リフォーム編」がリニューアルされました。今回は、**部屋の断熱性能**を強化することで、省エネに加え、健康的な生活を送るためのアドバイスを掲載しています。



①長野県は冬の朝起きた時の寝室の温度が**全国最低の8.8度**である。

②冬の「ヒートショック」を防ぐには、居室との**温度差を解消**することが重要。

③住宅への熱の出入りは、50%以上が窓から。**窓断熱**の対策が重要。

④省エネリフォーム補助金等の問合せ先の**QRコード**を掲載。

\*パンフレットのご希望は県センターまで



## エコドライブ 10 のすずめ



行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる **11月は「エコドライブ推進月間」**です。

地球とお財布にやさしい「エコドライブ」を始めましょう!

### ①ふんわりアクセル「eスタート」

…最初の5秒でゆったり時速20kmへ。それだけで燃費10%改善!

### ②車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

…車間距離が短くなると、市街地で2%、郊外で6%も燃費が悪化。

### ③減速時は早めにアクセルを離そう

…エンジンプレーキを活用して燃費2%改善!

### ④エアコンの使用は適切に

### ⑤ムダなアイドリングはやめよう

### ⑥渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

### ⑦タイヤの空気圧から始める点検・整備

### ⑧不要な荷物はおろそう

### ⑨走行の妨げとなる駐車はやめよう

### ⑩自分の燃費を把握しよう

\*詳しくは COOL CHOICE ホームページ (▼脱炭素アクション「エコドライブ」) へ

イラスト  
満載の**貸出  
用パネル**も  
あります



### エコドライブシミュレーター体験



仮想の一般道を走行体験! 解析結果はグラフや表で示され、運転のムダな部分・エコドライブのポイントがわかります。

\*お問い合わせは各センター(県・市)へ

## 〈市センター〉2019秋の自然エネルギー体験会

NPO 法人飯綱高原自遊楽舎主催の「2019 秋の自然エネルギー体験会」が、秋分の日(9月23日)、飯綱の「ネイチャーセンター冒険遊びの森」で開催されました。

市内は台風17号の影響で南風が強まり、フェーン現象が発生、朝から気温がグングンと上昇し、季節外れの厳しい暑さとなりました。会場は市外地から30分ほど山に入った場所で、10時の開会時には急に雲が空を覆い雨が降り出し、



慌てて屋根の下に移動しましたが、程なく太陽が顔を出してくれました。

参加者は芋井地区の子育て育成会の会員100名ほどで、新割に挑戦したり、パンやニジマスを焚火で焼いたり、こねた土で小さなかまどを作ったりしました。

市センターは、微風力発電機、LED・蛍光・白熱球比較実験器、蓄電自動車などを展示。子どもからも保護者からもLEDの発光効率の高さに驚く声が多く聞かれました。(事務局長 宮沢 博)

## 「第8回国際ユース環境会議」が今年も開催されました

第8回目を迎えた「国際ユース環境会議」が“新エネルギー”をテーマに小田切にある錬成センターで開かれました。今年は過去に参加した事のあるユース達だけにリピーターとしての参加募集をした為、参加人数は小規模でしたが、中高生から大学生まで世代を越えたユース達が参加し内容の濃い会議ができました。



参加者はテーマについてそれぞれ自分の意見を英語でポスターセッションし、また国際交流員からは自国のエネルギー政策について状況を聞き、意見交換をしました。

ワークショップでは、燃料電池パネルによる発電、スターリングエンジン発電、ペルティエ熱電発電等の実験器を使用した発電を確認しました。

協賛企業である直富商事(株)の三井正美講師によるプラスチックごみの話や信大工学部の学生による環境クイズ、スタッフ講師による温暖化防止の話などについて互いに知識を深めました。環境について世界的視野を持ったユースが育ち、世代を越えた若者達により地域に根付いた環境活動グループが出来る事を願っています。

(長野県地球温暖化防止活動推進員 西澤和雄)

## 第28回決算理事会を開催しました

第28回理事会が9月11日(水)に、長野市のホテル国際21で理事19名、監事2名が出席し開催されました。

山浦会長から「台風や秋雨前線など洪水被害が相次いで続き、地球温暖化が進んでいる。今、注目を集めているプラスチック問題も企業にとっては重要な課題となっている。SDGsの取り組みなど環境問題への取り組みをさらに強めたい。」との挨拶がありました。

続いて議事に入り、平成30年度の事業報告・収支決算、役員を選任、総会の開催など全て原案通り承認されました。

定時総会が10月15日(火)に開催されました。来月号で紹介します。

## 「'19 下水道ふれあいデー」開催



長野県の下水処理施設であるアクアパル千曲(長野市真島町地籍)で、「'19 下水道ふれあいデー」が9月7日(土)に開催されました。

長野市センターは、微風力発電機・蓄電自動車などエネルギー比較実験機器の展示・体験コーナーの運営に携わりました。

真夏を思わせる強烈な日差しの中、大勢の親子連れに訪れていただきました。他のブースや場内ではミニソーラーカーづくりやヒノキのマイ箸づくり、下水処理場の見学ツアー、微生物観察など様々な催しが行われました。

(長野市センター事務局長 宮沢 博)

### 会員数

(2019年9月30日)

\* 特別会員 92名 \* 一般会員 436名  
\* 賛助会員 203名 \* 総会員数 731名

### 事務局だより

千曲川の氾濫など台風19号による被害が東北信全体に広がっています。被災された会員様、関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

安曇野環境フェア、うえだ環境フェアも台風により中止となりました。

異常気象が常態化し、災害も従来の範疇を越えて起こっています。地球温暖化対策の遅れを鋭く指摘したスウェーデンの16歳の少女の国連での発言が注目を集めています。

ながのエコグッズコンテストの2次審査が終わり入賞者が決定しました。

### 行事・イベント情報

▼11/9(土) 暮らしを見直そう展 東御市

▼11/10(日)

親子わくわくフェスタ 長野市  
ながのエコグッズコンテスト表彰式

▼11/11(月) 中信支部総会・講演会

### 発行元

〒380-0835 長野市新田町 1513-2

□ 一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL.(026)237-6620 FAX (026)238-9780  
E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

□ 長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6625 FAX (026)238-9780  
E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

□ 長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL.(026)237-6681 FAX (026)237-6690  
E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp  
http://www.eco-mame.net/